

# PCSA アクションレポート（理事会）

平成 30 年 11 月版

## 11 月通常理事会

開催日時 平成 30 年 11 月 15 日（木） 正午 12 時～午後 1 時 30 分

開催場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町「フォレスト」

出席者 理事 6 名、幹部 5 名、合計 11 名

<代表理事>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

<副代表理事>

合田 康広 株式会社合田観光商事 常務取締役

<理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役

福井 宏彰 株式会社ボネール アミューズメント事業部 次長

石川 直史 株式会社ワールド 代表取締役社長

<専務理事>

中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

<監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 取締役会長

宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役

<モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

<アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表

藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長

### 第 1 号審議議案「PCSA 事務所移転について」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。2 年更新で一般社団法人パチンコ・トラスティ・ボード(以降、PTB)が借主、弊協会(以降 PCSA)はサブリース。契約状況は 6 か月前に通告もしくは 6 か月分の家賃を支払って即時解約となる。

#### 1. 現在の事務所の賃貸借状況（プレリー銀座ビル、2 年自動更新）

面積（坪）	77.5 坪
坪単価（円）	20,000 円
税込賃料／月	1,674,000 円
保証金（償却無し）	17,825,000 円
賃貸借期間	平成 29 年 3 月 1 日から平成 31 年 2 月末日

- 契約条件
1. 解約の場合は、6 か月前に予告する。又は、賃料の 6 か月分を支払って即時解約する。
  2. 解約、移転の場合は入居前の状態に原状回復のための工事を行わなければならない。
  3. 連帯保証人が必要。

## 2. 原状回復工事費用の概算見積額

見積依頼中	約 30,000,000 円
-------	----------------

## 3. 新規事務所の賃料、保証金、移転費用等（仮に 15,000/坪×60 坪の事務所に移転）

面積（坪）	60 坪
坪単価（円）	15,000 円
税込賃料/月	972,000 円
保証金	9,000,000 円
新事務所内装工事費他	7,000,000 円

ご参考 貸事務所家賃相場「Office」より 2018年11月現在

平均坪単価（円）	50坪以上 100坪未満	30坪以上 50坪未満
千代田区 丸の内・大手町	40,200	37,500
有楽町・霞が関	36,000	24,000
秋葉原・神田	19,900	15,700
中央区 銀座	26,200	23,500
京橋・八重洲・日本橋	25,000	21,300
三越前	15,800	14,200
台東区 上野・御徒町	16,300	13,800
東上野・台東	14,600	12,000
浅草・蔵前	13,600	10,300

## ＜意見＞

- ・ここ数年の状況を見ても正会員、賛助会員が増えていない。経費を削減しないと協会の継続もままならない。会議については周辺の貸事務所でやれば十分だと思われる。事務所機能だけであれば面積はもっと小さくていい。
- ・転出は6か月前告知なので、すぐに大家に告知をしても来年の5月まで猶予がある。
- ・原状回復に3000万円もかかるとは思えない。
- ・参考までに、PTBの臨時社員総会がこの理事会の前に開催され、銀座の事務所から出る事が承認された。
- ・前提が60坪になっているが、近隣の貸会議室があればそんなに広い必要はない。
- ・目的は賃料を下げる事。場所については業界的には上野界限が妥当かなと思う。
- ・オーラムが一部屋空いたと聞いた。
- ・銀座に事務所を構えたのはPTBのステータスという理由もあった。そのPTBも状況が変わってきている。PCSAは銀座にある必要もない。
- ・原状復帰に概算で3000万円の見積もりがでている。正式な見積もりを持って12月理事会での継続審議とするか？  
 >今の事務所を出て新しく安い事務所に移ることは決定したい。移転先は継続していく。
- ・業界は来期以降、収益上も厳しくなる。今期は幸運にも機械の入れ替えが少なくて済んだ。収益が厳しくなる中で経費をできるだけ削減していくのはある意味当たり前。

- ・PCSA の理念は受け継ぐべきだが、運営は時代に合わせないといけない。先月の名古屋開催は外部の出席もほとんどなく目的も結果も見えていない。理事会へ理事の出席が少ないのも運営方法に課題があるのではないかと思う。来期予算を考える時に事務局組織の見直しも必要ではないか。どんな組織でもマンネリ、硬直化しがちであり、何かを変化させるのは必要。具体的なアクションは来期の予算編成に向けてこれから議論したい。
- ・会議室について、これまで通り PCSA と PTB は一緒に借りるべきか？
  - ＞一緒に安ければそうすればいいし、そうでなければ分ければいい。一緒に借りるにせよ入口は分ける必要がある。
- ・物件を探すに当たっては不動産屋の他にも知っている人にも声をかけて進めてほしい。

＜審議＞

議長：それでは、今の場所を出て家賃を下げるという事でよいか？

一同：異議なし。

議長：それでは PTB にもお伝えして、今月末に大家に伝えていただきたい。

## 第 2 号審議議案「第 18 期総会・理事会スケジュール（案）」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。下記の内容で第 18 期の通常理事会、拡大理事会、社員総会・経営勉強会のスケジュールについて審議をお願いしたい。

【日付（案）】

平成 31 年

4 月 18 日（木）	4 月拡大理事会
5 月 16 日（木）	5 月通常理事会・第 18 期定時社員総会・第 68 回経営勉強会
6 月 20 日（木）	6 月拡大理事会
7 月 18 日（木）	7 月拡大理事会
8 月 22 日（木）	8 月通常理事会・第 18 期第 1 回臨時社員総会・第 69 回公開経営勉強会
9 月 19 日（木）	9 月拡大理事会
10 月 17 日（木）	10 月拡大理事会（東京以外で開催）
11 月 28 日（木）	11 月通常理事会・第 18 期第 2 回臨時社員総会・第 70 回経営勉強会
12 月 19 日（木）	12 月拡大理事会・忘年会

平成 32 年

1 月 27 日（月）	新年賀詞交歓会・1 月拡大理事会（予定）
1 月 28 日（火）	21 世紀会賀詞交歓会開催日（予定）
2 月 20 日（木）	2 月通常理事会・第 18 期第 3 回臨時社員総会・第 71 回公開経営勉強会
3 月 19 日（木）	3 月拡大理事会

【拡大理事会（5・8・11・2 月以外）当日のスケジュール（案）】

14：45～15：45	新遊技法研究会（60 分）
16：00～17：30	拡大理事会（90 分）
17：45～19：15	情報交換交流会（90 分）

【定時社員総会（5 月）当日のスケジュール（案）】

11：00～12：30	通常理事会（90 分）
-------------	-------------

13：00～15：00 定時社員総会（120分）

15：30～17：45 経営勉強会（135分）

18：00～19：30 情報交換交流会（90分）

【臨時社員総会（8・11・2月）当日のスケジュール（案）】

12：00～13：30 通常理事会（90分）

14：00～15：00 臨時社員総会（60分）

15：30～17：45 経営勉強会もしくは公開経営勉強会（135分）

18：00～19：30 情報交換交流会（90分）

【会場】

拡大理事会：PCSA 会議室

総会・勉強会：「TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町 ボールルーム」  
（東京都千代田区神田錦町 3-22 テラスクエア 3F）

<意見>

特に無し。

<審議>

議長：事務局提案のスケジュールで開催しても良いか？

一同：異議なし。

議長：開催場所に関しては第 1 号議案で審議の通り、事務局が移転した場合には近隣の会議室となる。  
また、事務局の移転先によっては総会会場についても考えたい。

### 第 3 号審議議案「賛助会員プレゼンテーション開催」審議【非承認・代替案で開催】

当件について事務局より説明があった。賛助会員のグローリーナスカ株式会社より 12 月の理事会に合わせて賛助会員プレゼンテーションを開催したいという申し込みがあった。賞品保管機の JK-500 という商品を経営者に向けてしたいとの事。

<意見>

・12 月に開催するとしたらどのようなスケジュールになるのか？

＞2 時 45 分に遊技法研究会がある。前回、理事会に合わせて開催した時は遊技法研究会前の 2 時から 2 時 30 分までプレゼンテーションを実施した。

・経営者に向けて開催したいとの事だが、経営者よりもセクションの責任者の方がいい。

・担当の責任者を出席させたいが、移動を含めこれだけに出るのは時間的にも出席しにくい。単体でプレゼンテーションを開催するのではなく賛助会員にアナウンスをして広く開催していただきたい。

<審議>

議長：それでは 12 月の理事会に合わせてプレゼンテーションをするのではなく、改めて賛助会員がプレゼンテーションをする機会を作って開催するということでもいいか？

一同：異議なし

議長：それでは、12 月か 1 月に日程を決めて、プレゼンをする賛助会員を募り、案内を出してほしい。

## 第 4 号審議議案「PCSA データベース 公表内容」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。10 月理事会で売上高について表示について「パチンコホールの産業規模について誤解を招きかねない。粗利ベースの表示を検討すべき」との指摘があり提案をした。表示名を「パチンコホール売上高（営業収入ベース）」にし、その額を従来の売上高の 15%とした。15%とした根拠は過去 10 年の DK-SIS の粗利規模が売上規模の 14.9～15.6%であったため。この内容でのホームページへの公開について審議をお願いしたい。

<意見>

- ・ホームページに掲載する時に営業収入にした説明をきちんとつけるべき。
- ・啓蒙するのが重要。カジノは営業収入で規模を出しているの、カジノと比較ができるようにするためにとかが考えられる。
- ・「売上」という言葉は従来の売上と意味を混同しそうなので別な言葉を使用すべきではないか。
- ・この表で記載してある「営業収入」を使用すればいい。
- ・なぜ「営業収入」で表示しているの分かりやすく説明してほしい。

<審議>

議長：それでは、1 番目のグラフの表示を「パチンコホール営業収入」とし、営業収入にした説明を載せてホームページに掲載してもいいか？

一同：異議なし。

## 第 5 号審議議案「安心パチンコ・パチスロアドバイザー講習会にかかる申入書」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。依存問題対策の一環として「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」というものがある。こちらは講習会を受けて修了証をもらうというもの。全日遊連の阿部理事長は年内に 3 万人のアドバイザーをつくりたいと言っている。その講習会は現在各都道府県方面遊協が実施しているが、全日遊連非組合ホールにとって受講しにくい状況がある。

講習会は DVD を視聴する形をとっているが、加藤 英則 PCSA 代表理事が PCSA にも DVD を貸与していただきたいと申し入れたところ、全日遊連からは「著作権の問題で貸与は出来ない。何か不都合があったら全日遊連に伝えてほしい。該当都道府県遊協に改善を求める連絡をする。」との回答をもらった。

そこで、PCSA 会員にアンケートを実施したところ下記の意見が集まった。これらの改善事項を全日遊連に文書で依頼する事について審議をお願いしたい。

<改善意見、要望>

- ①講習会自体の開催が少ない、もしくは募集人数が少ないため、開催を増やしてほしい府県  
長野県、茨城県、静岡県、新潟県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、鳥取県、広島県
- ②講習会の開催をホームページに公開していただきたい府県  
茨城県、新潟県、三重県、大阪府、鳥取県
- ③講習会開催のスケジュールの更新をホール 5 団体事務局にメールで情報を送っていただきたい。情報のタイムラグを減らすことでスムーズに講習会に出られる体制にしたい。

<意見>

- ・全日遊連としてはアドバイザーを各店 3 名と推奨しているが非組合員では進んでいない。DVD の貸し出しを言ったが、著作権の関係でできないという事で、逆に改善するので要請して欲しいという事。
- ・今年の末には人数としては 3 万人なる。県によっては非組合の対応が出来ていないところがあるのは全日

も理解している。文書はぜひ出して欲しい。

- ・受講が終わった後で修了証をもらえるのか？ > その通り。

<審議>

議長：それでは先ほど説明した内容で全日遊連に文書を提出してもよろしいか？

一同：異議なし。

## 第 6 号報告議案「第 17 期中間決算」報告

当件について事務局より説明があった。第 17 期の中間決算が出たので報告をする。

貸借対照表：資産の部は流動資産が 1780 万 4557 円、固定資産は 836 万円、合計 2616 万 4557 円。負債の部 701 万 2789 円、純資産の部 1915 万 1768 円で負債及び純資産の合計は 2616 万 4557 円となる。

損益計算書：売上高、会費収入が 2444 万円、セミナー売上高 17 万 5000 円、入会金収入が 30 万円、合計 2491 万 5000 円。販売費及び一般管理費が 2761 万 6966 円。営業外収益が 167 万 2565 円。当期純損失額が 102 万 9390 円

<意見>

- ・16 期の経常収益が -363 万円となっている。今期を併せるとマイナスの 500 万円になる。
- ・貸借対照表を見ると繰越のマイナスが 500 万円、今期 137 万円のマイナスを見込んでいたのでトータルで 637 万円のマイナスになる。
- ・2 期連続で赤字であるので、来期はきちんと考えないとまずい。
- ・予算が減少することを見込んで来季の予算を組む必要がある。
- ・収入は変化するので、臨機応変に考える必要がある。
- ・このままでは 4 期持たずに債務超過になる。皆さんからいただくわけにはいけないので、全体経費を抑えないといけない。
- ・実際にやるわけではないが、4 回の総会を減らすとか、研究部会費を減らすとかという案もある。
- ・総会や研究部会など根幹の部分は変えられない。
- ・事務局も会員を増やす努力をしてほしい。顕著に出ているのが名古屋の開催であった。

## 第 7 号報告議案「PCSA フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ開催」報告

当件について事務局より説明があった。次の内容で第 2 回 PCSA フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイの応募を開始した。

<概要>

タイトル： 第 2 回 PCSA フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ

募集期間：平成 30 年 11 月 1 日～平成 31 年 2 月末日

応募資格：PCSA 正会員・賛助会員・特別会員企業従業員（社員・パート）で入社 3 年以内の方  
（2016 年 4 月 1 日以降に入社された方）

賞金： 最優秀賞 1 編 20 万円（賞状・記念品）

優秀賞 数編 10 万円（賞状・記念品）

授賞式：平成 31 年 5 月 16 日開催の第 18 期定時社員総会において

審査員：審査委員長 横山 和夫氏（公認会計士・元東京理科大学教授）

審査副委員長 斎木 純一氏（フジサンケイビジネスアイ 相談役）

審査員 PCSA 理事・アドバイザー

## 第 8 号報告議案「第 17 期第 2 回臨時社員総会・第 66 回公開経営勉強会」報告

当件について事務局より出席者について説明があった。

&lt;記&gt;

総会出席者

正会員 12 名、賛助会員 24 名、特別会員 1 名、アドバイザー・業界誌 12 名 合計 49 名

勉強会出席者正会員 39 名、賛助会員 39 名、特別会員 1 名、アドバイザー・業界誌 14 名  
一般（ご招待・書籍購入者）7 名、一般（有料）1 名 合計 101 名懇親会出席者正会員 5 名、賛助会員 25 名、特別会員 1 名、アドバイザー・業界誌 11 名  
一般（ご招待・書籍購入者）1 名、一般（有料）0 名 合計 43 名

## 第 9 号報告議案「団体活動（21 世紀会、機構社員総会、経産省訪問）」報告

当件について事務局より説明があった。

&lt;第 9 号報告議案－1 21 世紀会活動報告&gt;

開催日： 平成 30 年 11 月 5 日

PCSA 出席者： 加藤 英則 代表理事、中島 基之 専務理事、事務局

決議事項： 1. RSN への支援増額とその分担について

ホール 5 団体と全機連で折半、12 月末日までに支払いで承認。後日のホール 5 団体の打ち合わせにより、平成 31 年度の負担割合について PCSA 提案の分母を 5 団体ホール加盟数とし、分子を各ホール団体加盟数（全日組合員除く）で承された。正確な金額は全日で算出する。

2. 第三者委員会設立準備委員会 有識者への謝金額について

準備委員会委員 1 名につき 3 万円＋交通費の支払いで承認。委員は 3 名。近日中に第 1 回会議を開催。政府の関係者会議の状況を見つつ議論をする。

3. 2019 年 1 月 29 日開催 21 世紀会における RSN 出向者 大野真希氏の講演と謝金額について

表題の日付に開催される 21 世紀会において大野氏の講演開催、謝金を支払う事が承認された。

&lt;第 9 号報告議案－2 一般社団法人遊技産業健全化推進機構 社員総会&gt;

開催日： 平成 30 年 11 月 5 日

PCSA 出席者： 加藤代表理事、中島専務理事、事務局

決議事項： 第 1 号議案 社員経費負担の件

平成 30 年度の 21 世紀会各団体の機構経費負担額が確定した。総額は 4 億 612 万 2128 円。PCSA 負担額は台当り 48 円で 431 万 5488 円となる。

&lt;第 9 号報告議案－3 経済産業省訪問報告&gt;

開催日： 平成 30 年 11 月 12 日

出席者： PCSA：佐藤コスト部会リーダー、中島専務理事、事務局  
 概要： ホール5団体の事務局ならびに傘下ホール企業の担当者が、経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー課に出向き、資源エネルギー庁のベンチマーク指標の計算方法の結果を聴取し意見を交換した。

同庁の推奨するベンチマーク指標計算式は下記の通り。

$$= \text{延べ床面積} \times 0.058 + (\text{ぱちんこ遊技機台数} \times \text{年間営業時間} \div 10^3) \\ + (\text{回胴式遊技機台数} \times \text{年間営業時間} \div 10^3) \\ * 「10^3」は 10 の 3 乗 = 1000 の意味$$

この指標計算式は規模要因、設備要因、稼働要因が考慮できており高い決定係数を持っている。この案に対しパチンコホール側の出席者から意見が出された。その結果、上記の計算式をベースに、恣意的な数字が出せないようなガイドラインを作っていく事となった。

なお、PCSA コスト問題研究部会で、算出がしやすく望ましいと考える式は下記の通り。こちらの式についてはエネルギー使用量との相関関係が同庁案等と比較して低くそぐわないとの分析結果の説明が同庁からあった。

(PCSA コスト問題研究部会案)

$$= \text{エネルギー使用量 (kl)} / \text{総床面積}$$

#### <意見>

- ・上記の内容はコスト問題研究部会にフィードバックしたか？  
 > 次回の研究部会で説明をする。
- ・これに関するペナルティについても調べてほしい。

### 第 10 号報告議案「PCSA 政治分野アドバイザー 最新名簿」報告

当件について事務局より説明があった。本日現在のPCSA 政治分野アドバイザーは自由民主党 24名（衆議院 20名、参議院 4名）、日本維新の会 6名（衆議院 4名、参議院 2名）、国民民主党 8名（衆議院 5名、参議院 3名）、立憲民主党 4名（衆議院 4名）、無所属 2名（衆議院 1名、参議院 1名となっている。

### 第 11 号報告議案「PCSA パチンコホール法律ハンドブック 2018」報告

当件について事務局より説明があった。

#### 【概要】

書名： 『パチンコホール法律ハンドブック 2018』  
 著作： 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会 法律問題研究部会・株式会社ダイナム  
 監修： 弁護士 三堀 清  
 定価： 3,000 円（本体 2,778 円＋税）  
 発売日： 2018 年 8 月 23 日（2010 冊）（第 2 刷 2018 年 10 月 1 日 1000 冊）  
 版型： A5 判（ページ数 417 ページ）

#### 【配布・販売・収支概要】

・納品数	2010 冊（印刷代	¥ 1,392,120-）	@ ¥ 696-
・納品数（増刷分）	1000 冊（印刷代	¥ 684,612-）	@ ¥ 684-
	3010 冊（印刷代	¥ 2,076,732-）	@ ¥ 690-



・配布数	1339 冊	(正・賛助・特別会員、会員ホール、行政他)	
・販売数 (初版・会員)	310 冊	(15 社)	¥ 455,500-
	(初版・非会員)	361 冊 (101 社)	¥ 1,083,000- /合計 ¥ 1,538,500-
・販売数 (2 刷・会員)	10 冊	(1 社)	¥ 15,000-
	(2 刷・非会員)	233 冊 (41 社)	¥ 684,000- /合計 ¥ 699,000-
総 計	2253 冊	(内販売 914 冊)	総計 ¥ 2,237,500-

(2018 年 11 月 13 日正午現在)

## 【業界誌等 記事掲載実績】

「パチンコホール法律ハンドブック 2018」店舗とホールの諸問題 164 の解答

(4 ページ、PIDEA9 月号)

「PCSA パチンコホール法律ハンドブック 2018」発行

(3 分の 1 ページ、遊技経済 9 月号)

「PCSA パチンコホール法律ハンドブック 2018」12 年ぶりに改訂

(0.5 ページ、遊技ジャーナル 10 月号)

「PCSA12 年ぶりのハンドブック 164 事例で法的根拠を解説」

(3 分の 1 ページ、プレイグラフ 10 月号)

## &lt;意見&gt;

- ・すぐに売れるところは一巡したので、次の販売ルートを考えたい。例えば、手数料をいくらか取られるが、遊技通信は宣伝して売ってくれる。感覚的には店舗に 1 冊あった方がいい。ちゃんと周知できればまだ需要はあると考える。

## その他

・「その他－1 PCSA スケジュール」

・「その他－2 時代に適した風営法を求める会 開催」

11 月 28 日に「時代に適した風営法を求める会」の開催がある。PCSA にも案内が届いたので、ご都合がつくのであればご出席いただきたい。

## &lt;意見&gt;

- ・規則改正後の状況を聞きたい。6 号機の適合の状況を訴える場ではある。
- ・全日遊連でもつきあいのある自民党会員に声をかけてほしいと言っている。PCSA のアドバイザーの先生に声かけは可能か？ > 可能。
- ・PCSA で何人参加できるか確認してほしい。 > 確認の上、改めて案内を出す。

・「その他－3 高射幸性回胴式遊技機の設置比率に関する自主規制の一部変更について」

11 月 14 日に全日遊連全国理事会が開催され、高射幸性回胴式遊技機の設置比率に関する自主規制の一部変更があった。来年 1 月末時点で設置比率目標値を 15%以下と定めていたものを、期限を決めずに延期するという事。補足として早期削減に向けて一貫して減少傾向になるように努めること、という文言もあった。

## &lt;意見&gt;

- ・現在、保通協の適合がほぼない状況。適合しているのも市場に売るためのものではない。次は何月というめどはたっていない。全日では中小、零細企業もあり中古機しか買えないホールもある。6 号機の中古機

は来年の 12 月くらいにならないと流通も難しい。再来年の 5%も危ぶまれている。潤沢に中古機が出回ったのち、との事らしい。なお、現状としては 10 月で 18%残っている。1 月で 17.2%まで自然減で減る。小規模店舗は 5.9 号機の導入はできない。中古中心に購入する会社もある。延期はいつになるかわからない。

- ・反対の意見はどのようなものがあったのか？
- ・ある県では 80%のホールがすでに 15%達成しているとのこと。まじめにやっているホールがバカを見る事になるのか、という意見。他には自分で決めた自主規制をやぶるなんてみつももない、という意見。

## 次回開催

### 「12 月拡大理事会」

開催日： 平成 30 年 12 月 20 日（木）  
スケジュール： 午後 2 時 45 分 ～ 3 時 45 分 《第 71 回遊技法研究会》  
午後 4 時 ～ 5 時 30 分 《12 月拡大理事会》  
午後 6 時 ～ 7 時 30 分 《PCSA 忘年会》  
開催場所： PCSA 会議室

以上